

防災業務アプリケーションユニット標準仕様  
避難行動要支援者名簿管理・被災者台帳管理

【項目セット辞書】

V1.1

平成 31 年 3 月



一般財団法人全国地域情報化推進協会

## 目 次

本資料の位置づけ .....	1
項目セット辞書 .....	2

## 本資料の位置づけ

---

本書「防災業務アプリケーションユニット標準仕様 避難行動要支援者名簿管理・被災者台帳管理【項目セット辞書】」は、各業務ユニット間の連携データ項目において、共通なリファレンスとなるデータ項目の集合体の型を定義した辞書である。

本書は、インタフェースの設計等を効率的に進めることを目的としており、同標準仕様「インタフェース仕様」や「データ一覧」等を参照する際に利用する。

## 項目セット辞書

項目セット辞書(共通)						版	作成日
						1.0	

項番	項目セット名	項目名	CD	データ型	桁数	出現回数		外字使用	項目の説明
						最小	最大		
1	日付情報	年		X	4	1	1		西暦年
		月		X	2	1	1		右詰め残り前「0」
		日		X	2	1	1		右詰め残り前「0」
2	氏名情報	氏名		N	205	1	1	○	姓と名の間等に全角の空白を一文字入れる。
		フリガナ		N	205	1	1		姓と名の間等に全角の空白を一文字入れる。
3	続柄情報	続柄 1	○	X	2	1	1		※続柄
		続柄 2	○	X	2	1	1		※続柄
		続柄 3	○	X	2	1	1		※続柄
		続柄 4	○	X	2	1	1		※続柄
4	年月情報	年		X	4	1	1		西暦年
		月		X	2	1	1		右詰め残り前「0」
5	生年月日情報	年号		X	2	1	1		
		日付		日付情報セット		1	1		
6	住所情報	住所コード	○	X	30	1	1		J-LIS 全国町字コード等の利用を想定。住所のコード化が必要な範囲に応じて自治体で個別に設定する。
		住所		N	100	1	1	○	
		方書		N	150	1	1	○	
		郵便番号		X	10	1	1		

項 番	項目セット名	項目名	CD	データ型	桁数	出現回数		外字 使用	項目の説明
						最小	最大		
7	住所位置情報	住所コード	○	X	30	1	1		J-LIS 全国町字コード等の利用を想定。住所のコード化が必要な範囲に応じて自治体で個別に設定する。
		住所		N	100	1	1	○	
		方書		N	150	1	1	○	
		郵便番号		X	10	1	1		
		位置		位置情報セット			0	1	
8	位置情報	空間参照系コード	○	X	50	1	1		位置情報の座標参照系。URN 形式で EPSG コードを設定する。例) urn:ogc:def:crs:EPSG::4612
		点		X	N	0	1		点形式の座標情報(※1)
		線		X	N	0	1		線形式の座標情報(※1)
		面		X	N	0	1		面形式の座標情報(※1)
9	氏名検索情報	氏名		N	205	0	1	○	姓と名の間等に全角の空白を一文字入れる。
		フリガナ		N	205	0	1		姓と名の間等に全角の空白を一文字入れる。
10	住所検索情報	住所コード	○	X	30	0	1		J-LIS 全国町字コード等の利用を想定。住所のコード化が必要な範囲に応じて自治体で個別に設定する。
		住所		N	100	0	1	○	

項 番	項目セット名	項目名	CD	データ型	桁数	出現回数		外字 使用	項目の説明
						最小	最大		
		方書		N	150	0	1	○	
		郵便番号		X	10	0	1		

(※1)座標情報は、「ISO 19125-1:2004 Geographic information — Simple feature access — Part 1: Common architecture」で定められる WKT (Well-Known Text) 形式の文字列で記述する。詳細は、「地域情報プラットフォーム GIS 共通サービス標準仕様」を参照のこと。